

視点

View Point

さいとう けんいち
斎藤 健一氏

株式会社日本政策金融公庫
長野支店 国民生活事業 事業統轄

日本政策金融公庫は、政策金融の担い手として、セーフティネット機能を發揮して、お客さまの「安心を支える」とともに、お客さまの新たな取り組み、成長、再チャレンジといった「挑戦」を支えます。

人口減少時代を迎える今後は特に、長野地域の成長に貢献できるよう、長野商工会議所はじめ地域の関係機関と連携しながら、創業・スタートアップ・新事業支援に力を入れていきます。

長野商工会議所と連携しながら 地域の成長に貢献する支援を

小規模事業者の 事業資金融資などを実施

—— 日本政策金融公庫の役割や業務内容について教えてください。

斎藤 日本政策金融公庫は、国の政策のもと、民間金融機関の補完を旨として融資を行う政策金融機関です。国民生活金融公庫、農林漁業金融公庫、中小企業金融公庫の3つを前身とし、2008年に発足しました。現在、全国152の支店を通じて、中小企業、小規模事業者、農林漁業者の皆様へ融資を行っています。

私が所属する国民生活事業では、小規模事業者の方々に支援する事業資金融資のほか、お子さまの入学資金などを必要とされる皆様への教育資金融資など、生活に密着した融資を実施しており、1件あたりの平均融資残高は839万円と小口融資が主体となっています。

日本政策金融公庫では昨年、当公庫の使命を「政策金融の担い手として、安心と挑戦を支え、共に未来を創る。」と定めました。コロナ禍のように、いかなる危機発生時でもセーフティネット機能を發揮して、お客様の「安心」を支えるとともに、お客様の新たな取り組み、成長、再チャレンジといった「挑戦」を支えます。

長野は自然に恵まれ、 ほどよく都会で住みやすい

—— 斎藤様は昨年8月長野支店に着任されました。長野の印象はいかがですか。

斎藤 これほど自然が豊かな場所に住むのは初めての経験です。長野は山々に囲まれ、景色がすごく良いところだというのが第一印象です。

や海外展開支援に力も入れます。 県や市、民間金融機関等地域の関係機関の皆様と連携していきますが、私どもにとつて最も重要なパートナーは長野商工会議所です。2月には、長野商工会議所と公庫の職員が同席して対応する定例創業相談会を開始しました。今後、長野商工会議所が開催する創業スクールでも連携していきたいと考えています。

また、日本政策金融公庫では、将来を担う若者の創業マインド向上を目的に、全国の高校生を対象としたビジネスプラン・グランプリを開催しており、今年で第13回を数えます。未来の創業者を増やす試みですので、長野県でもぜひ多くの高校生に応募してもらいたいと願っています。

最後になりましたが、長野地域は自動車産業に関わる事業者も多く、アメリカの関税政策で影響を受ける可能性もあります。公庫では特別相談窓口を設置して、中小企業の皆様の資金繰りをサポートしていきます。また、**長野商工会議所の経営指導を受けている方が対象となるマル経融資という制度もありますので、より一層長野商工会議所との連携を強化していきます。**

PROFILE

1977年神奈川県生まれ。
2000年国民生活金融公庫
(現:日本政策金融公庫)に入庫。
金沢支店などで融資を担当したほか、本部では
高校生向けビジネスプラン
コンテストの立ち上げも担当。
2024年8月より現職。

また、長野県はお酒もおいしいですね。酒蔵が県内に約80あり、各地の酒蔵で味わいが違うのも興味深く、伝統の重みも感じます。まだ出会っていないお酒も多く、これから楽しみにしています。

自然と歴史や文化に恵まれ、ほどよく都会で、東京へも近く、非常にバランスのとれた住みやすい土地だと感じています。

中長期的課題は 人口減少にどう向き合うか

—— 長野地域の経済状況、中小企業が抱える課題についてどう考えですか。

斎藤 インバウンドの増加等により、飲食・宿泊など観光関連では業績が改善している事業者もみられ、各種調査でも景況は全体として持ち直していると感じています。ただし、小規模事業者を中心に、原材料高や人手不足に苦しんでおられ、持ち直しの動きは足踏み状態にあります。また、米国の関税が地域経済に与える影響も懸念され、先行きは不透明です。

こうした足下の課題とは別に、人口減少にどう向き合うかという中長期的な課題があります。長野県が昨年策定した「信州未来共創戦略」では、人口減少を前提とした社会づくりに向け、これまでの価値観からの転換や、経営の革新を求

めています。さまざまな産業に関わるどの企業でも、付加価値や生産性を高めることが重要であり、**私たちの融資も、創業・スタートアップ・新事業支援の重要性が増すでしょう。** 起業の増加は経済の新陳代謝を進め、成長性の高いスタートアップ企業の登場は雇用の増加のみならず地域課題の解決にもつながるからです。

県の人口戦略では、「若者・女性から選ばれる寛容な社会づくり」もテーマです。3月に公表されたジェンダーギャップ指数では、長野県は経済分野で男女間の格差が大きいという結果になりました。一方、公庫の創業融資における女性の占める割合をみると、長野県は全国平均より高くなっています。長野商工会議所でも女性のキャリア形成支援に力を入れていると伺いました。**起業や経営の分野で女性の存在が高まれば、ビジネスに多様性が生まれます。この流れを加速させるべきです。**

長野商工会議所は 最も重要なパートナー

—— 今後、中小企業に向けて、特にどんな支援に力を入れていかれますか。

斎藤 **長野の成長に貢献できるよう創業・スタートアップ・新事業支援のほか、事業承継支援**

DATA

株式会社日本政策金融公庫
[設 立] 2008(平成20)年10月
[事業内容] 事業資金融資、教育資金融資など
[支 店 数] 全国152支店
[所 在 地] 〈長野支店〉
長野市三輪田町1291
[T E L] 0570-021469

横顔

野球観戦が趣味で、長野県出身の牧選手が所属する横浜DeNAベイスターズのファン。「今年は、信濃グランセローズの試合も観戦に行きたいと思っています」